

# 第7章 分詞

## ポイント① 分詞の種類と役割

### ●分詞の種類×2

	役割	訳
現在分詞		
過去分詞		

### ●そもそも分詞って...何??

分詞⇒ のカタマリを作る

① 名詞を修飾する Ex) the **sleeping** baby / the **broken** door

分詞の単独修飾は前からかかる。複数修飾は後ろからかかる。

Ex) the door **broken by her**

② 補語になる(SVC/SVOC) Ex) He came **running** into the room. (SVC)

Ex) I saw him **crossing** the road. (SCOC)

### ●分詞の解法

① セットになる名詞の特定

② 名詞と分詞が能動の関係 ⇒ 現在分詞

名詞と分詞が受動の関係 ⇒ 過去分詞

## ポイント② 感情動詞

### ●感情動詞一覧

・驚き系		
surprise (驚かせる)		amaze (驚かせる)
astonish (驚かせる)		shock (ショックを与える)
・プラス系		
excite (興奮させる)		please (喜ばせる)
delight (喜ばせる)		
・マイナス系		
disappoint (失望させる)	tire (疲れさせる)	
exhaust (疲れさせる)	bore (退屈させる)	

### ●感情動詞の解法

① 分詞の対応する名詞を特定
② その名詞が感の原因 ⇒ 現在分詞 その名詞が感情主体 ⇒ 過去分詞
* 日本語に引っ張られすぎないように注意

#### 【例題】

- ・ I was (surprise) at the news. 私はその知らせに驚いた。
- ・ The news was (surprise) to me. その知らせは私にとって驚きであった。
- ・ Ichiro is (surprise) to major-league baseball fans.  
イチローはメジャーリーグのファンに驚きを与えている。

## ポイント③ 付帯状況の with

### ●付帯の with とは？

with の後ろに O, C とをおいて、文の後ろにある状況を付帯させる(付け加える)。 C には、 <u>現在分詞</u> 、 <u>過去分詞</u> 、 <u>形容詞</u> などが来るが、O との関係で、 <u>能動なら現在分詞</u> 、 <u>受動なら過去分詞</u> と使い分ける。 基本の解釈は、with O C で、「O を C した状態で」と訳す。 ただし、柔軟に訳出する必要がある。
--

#### 【例文】

- ・ My father often thinks **with** his eyes closed.  
「父は、よく目を閉じたまま考え事をする。」
- ・ A strange man stood at the door **with** his arms folded.  
「見知らぬ人が腕を組んだままドアの所に立っていた。」
- ・ She sat on the chair with her legs crossed.  
「彼女はその椅子に足を組んで座っていた。」
- ・ Don't speak **with** your mouth full. 「口にもものを入れて話してはいけない。」







## ポイント④ 分詞構文の基本

### ●分詞構文とは？

現在分詞・過去分詞を使った特殊構文の一つで、元々接続詞があった英文を、簡略化したもの。主に、文頭と文中、文尾の三つの位置に現れる。

【文頭】 Doing (Done) ～ , SV.

【文中】 S, doing (done) …, V ー.

【文尾】 SV ～ , doing (done) ….

### ●分詞構文の作り方

- ① 接続詞を省略(省略しても分かる接続詞)
- ② S が主節と同じなら省略(主節を見れば分かるから)  
異なる場合は、残す(省略しては分からないから)
- ③ 動詞を ~ing (現在分詞)に変える
- ④ Being p.p. の being は省略可能(過去分詞に受身の意味があるから)

・ When the earth is seen from space, the earth looks round.

地球を宇宙から見ると、丸く見える。

↓ 分詞構文に変える。

- ① When を消して
- ② the earth が共通しているので消して
- ③ 動詞を ~ing にして(Being)
- ④ Being seen の being を省略すると

・ Seen from space, the earth looks round. と分詞構文が完成。





## ポイント⑥ 分詞構文の解釈

### ●分詞構文の訳し方

学校では「元の接続詞が何かを考えて訳しましょう」と習いますが、その必要はありません。分詞構文の位置に応じて3パターン覚えるだけです。

文頭 = Doing (Done) ~ , SV.

「~して,~すると, SVだ。」

文中 = S, doing (done) ~ , V.

「S は~だが(ので), V する」

文尾 = SV ~ , doing (done) ….

①SVだ。そして…する。

②…しながら SV する。





(22) ( ) the story before, she didn't want to hear it again.

① Heard

② Being heard

③ Having heard

④ Having been heard

(23) ( ) my homework, I could finally watch television.

① Being done

② Doing

③ Had done

④ Having done

(24) ( ) on the farm all day long, he was completely tired out.

all day long「一日中」completely「完璧に」

① Worked

② Not working

③ Being working

④ Having worked